

【プロフィール】



エリック・ミヤシロ

ハワイで生まれ育つ。中学・高校時代に多くのオーケストラに参加、その豊かな才能は瞬く間に評判となり、天才少年としてメディアからの出演依頼が殺到。高校3年時にはハワイ代表として全米高校オールスターバンドのメンバーに選出され、カーネギーホールで憧れのメイナード・ファーガソンと初めての共演を果たす。高校卒業後、バークレー音楽院に奨学金で招かれ入学し、在学中から地元のスタジオでバークレーの講師たちと共にプロとして活動。22歳でバディ・リッチ、ウディ・ハーマンらの一流ビッグバンドにリードトランペットとして招かれ、7年間世界中を回る。'89年来日し、スタジオ録音、ツアーサポート、作曲、アレンジ、プロデュース、学校講師など幅広く活動。'95年に“EM Band”を結成。'13年には“Blue Note Tokyo All-Star Jazz Orchestra”の音楽監督として活動を始める。

バンドプロフィール

日本ジャズ界のトップ・プレイヤーたちが集結し、2013年5月「JAZZ AUDITORIA 2013」で旗揚げ。2014年7月スイス・モントルー・ジャズ・フェスティバルに出演し、絶賛を博す。2015年3月には、アジア最大級のジャズフェスティバル、インドネシア・インターナショナル・ジャワ・ジャズ・フェスティバルに出演。また、パット・メセニー、アルトゥーロ・サンドバル、リチャード・ボナラトップアーティストたちとの共演も果たし、ジャズクラブ、ブルーノート東京をホームグラウンドに活動を行っている。本オーケストラの音楽監督は、バディ・リッチ やウディ・ハーマンのオーケストラでキャリアを積み、1989年から日本を拠点に活動するトランペッター、エリック・ミヤシロが務めている。

